

【施策評価調査】

施策名	1-2-3	農道の整備		74	施策目的 道路評価システム(農道部門)に基づき整備し、農業の振興と農村環境の改善を図るとともに、生活道路としての機能の充実を図ります。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部都市整備課	担当 リーダー	都市整備担当 阿久津 靖		施策内容 道路評価システム(農道部門)に基づき整備し、農業の振興と農村環境の改善を図るとともに、生活道路としての機能の充実を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化					

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 農道舗装率 (%)	平成16年度舗装率(防塵舗装含) 舗装延長18,752m/農道延長92,643m 20.2%	計画	21.2%	21.6%	22.2%	22.8%	23.4%
		実績	21.20%	21.5%	23.00%		
指標 :		計画					
		実績					
指標 :		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	15,500,000	17,600,000	14,450,000		
	決算	15,371,040	16,478,700	14,845,950		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
県単農道整備事業費	当初 14,450,000	3路線の完成	A	当初計画の3路線に対し、2路線の整備となったが、農業の振興及び農村環境の改善に資することができた。			
	決算 14,845,950	66.7% / 100%		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	総合評価	<p>当初計画は3路線であったが、結果的に2路線を予算化し、完了することができ、その結果農耕作業効率率が改善され、また生活道路としての機能が向上し、農村環境の改善を図ることができた。</p> <p>継続的に施策展開されていると評価する。 後期計画に向け、整備することでどのような成果となるのか、指標の見直しを行うとともに、社会状況の変化を見極めつつ、医療より福祉より道路なのか?という視点で事業の優先順位を決めていく、そのためにも道路評価システムの見直しが必要であるとともに、他課で行う他の施策とつながりのある視点を持ち、財政状況を勘案した施策展開を検討すること、</p>